

感染症対策について

令和2年度 集団指導資料
甲府市福祉保健部健康支援センター
医務感染症課

【内容】

- 1 感染症の基本
- 2 結核の基礎知識
- 3 インフルエンザの基礎知識と対策
- 4 ノロウイルスの基礎知識と対策
- 5 新型コロナウイルス感染症について
- 6 感染予防対策

参考資料

感染対策マニュアル 等

1 感染症の基本

【感染症に必要なもの】

宿主(人)
(感染場所)

感染経路
(移動手段)

病原体
(感染源)

接触感染
飛沫感染
空気感染

どれかを防ぐことが出来れば、
感染症は予防できる！

主な感染経路と原因微生物

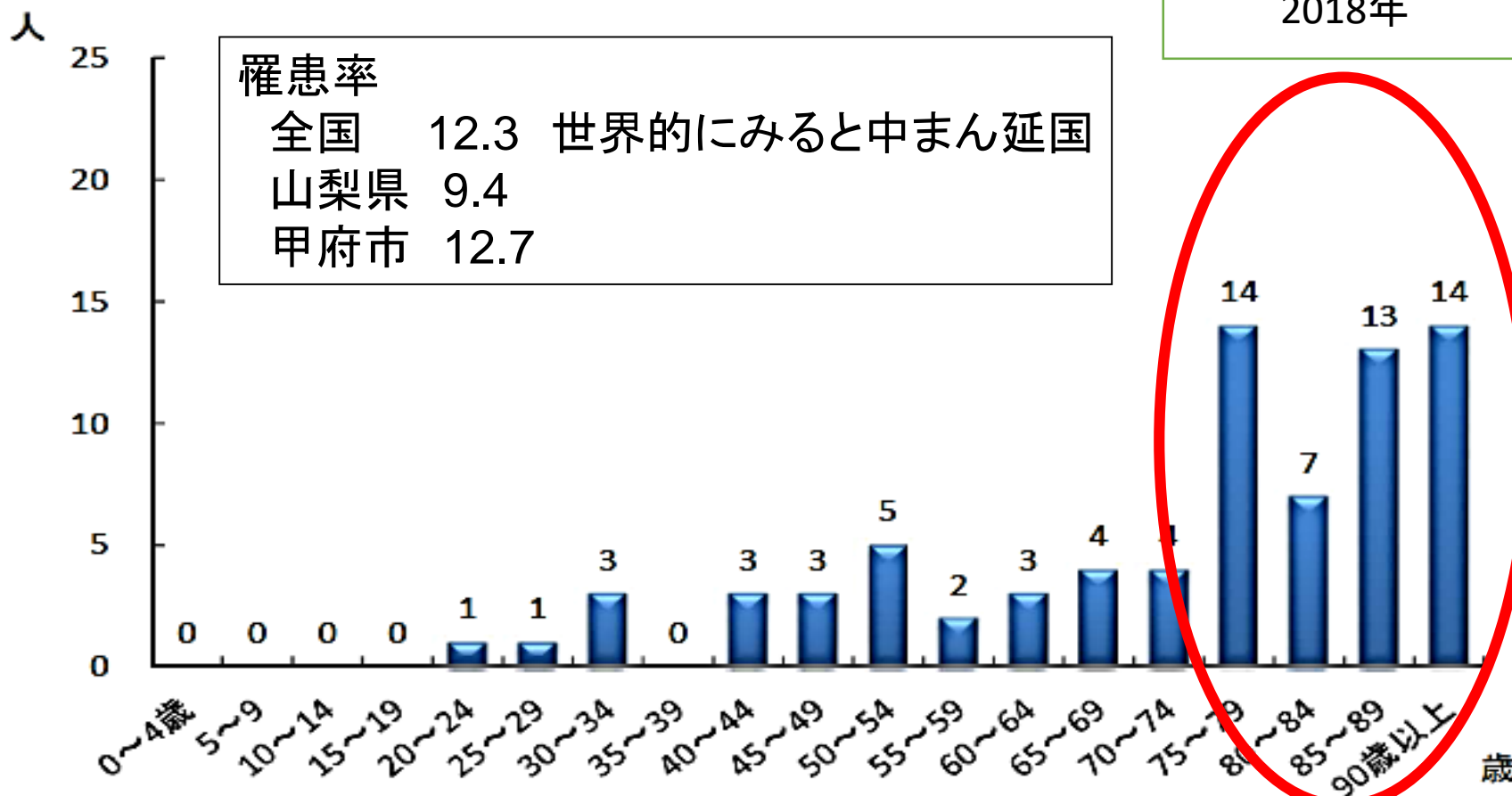
| 感染経路 | 特徴 | 主な原因微生物 |
|------------------|---|--|
| 空気感染 | 咳、くしゃみなどで、飛沫核(5 μ m以下)として空中に浮遊し、空気の流れにより飛散する。 | <u>結核菌</u> 麻疹ウイルス 水痘ウイルス 等 |
| 飛沫感染 | 咳、くしゃみ、会話などで感染する。 飛沫粒子(5 μ m以上)は1m以内の床に落下し、空中を浮遊し続けることはない。 | <u>インフルエンザウイルス</u> 麻疹ウイルス 風疹ウイルス マイコプラズマ肺炎 <u>新型コロナウイルス</u> 等 |
| 接触感染 (経口感染含む) | 手指・食品・器具を介して伝播する。 最も頻度の高い伝播経路である。 | <u>ノロウイルス</u> 、疥癬 <u>腸管出血性大腸菌</u> 、VRE MRSA、緑膿菌、 <u>新型コロナウイルス</u> 5 等 |

2 結核の基礎知識

結核って今もあるの？

年齢階級別新登録患者数

山梨県 77名
甲府市24名
2018年



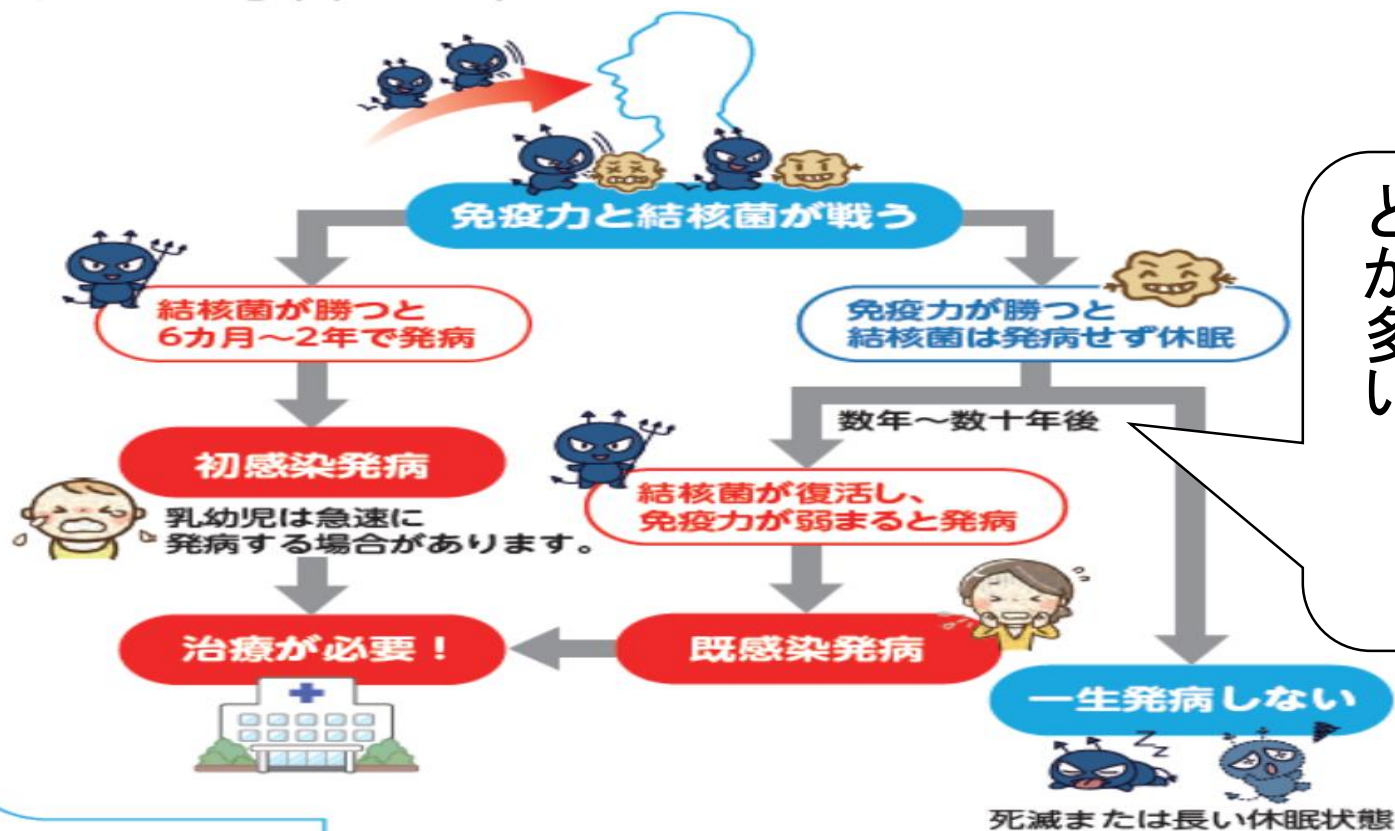
○新登録結核患者の60%以上は75 歳以上

感染と発病の仕組み

3

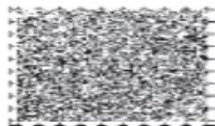
どのように感染するの？

咳やくしゃみなどの空気感染によりうつります。結核菌の混ざったしぶきが、咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことで感染するのです。



高齢者の場合、昔、感染した人が、発病するところが多い

結核に感染しても必ずしも発病するわけではありません。通常は免疫力により結核菌の増殖が抑えられ、休眠状態になります。



結核を予防しよう

4

結核を予防しましょう！

2週間以上咳やタンが続くようなら医療機関で受診しましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場などへの感染を防ぐためにも重要です。症状がなくても、毎年定期的に健診を受けましょう。

健康的な生活が予防につながります

1. 適度な運動



2. 十分な睡眠



3. バランスよい食事



4. 定期的な健診で早期発見



ポイント

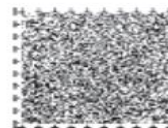


- 抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命を危うくすることがあります。予防にはBCG接種が有効です。市町村からの案内に従い1歳(国が示す標準的接種期間は生後5～8カ月)までに接種してください。



- 高齢者は微熱が続いたり、体重が減ってきたりしたら結核かもしれませんので、早めに医療機関で受診しましょう。

- 喫煙はより結核を発病させやすくします。



高齢者の結核の特徴

- 結核の代表的な症状である呼吸器症状が全く出ない人も少なくない。
- 転倒しやすくなった、発熱が続くなどの症状のみの人もいる。



加齢による変化や他の疾患との区別が困難



どうやって発見するのか??

定期的に胸部レントゲン検査を受ける!!

事業者の皆様へのお願い

- 利用者の結核の既往歴を把握してください。（「肋膜炎」「カリエス」「肺の病気」という人もいるかも）
- 体調がすぐれないときは、早めの受診を促してください。
- 利用者に胸部レントゲン検査の重要性をお伝えください。→市町の健診等を利用し、年に1回以上の受診を
- 施設内の定期的な換気をお願いします。

3 インフルエンザの 基礎知識と対策

インフルエンザ

【病原体】 インフルエンザウイルスA型、B型

【感染経路】 飛沫感染、接触感染(鼻やのどで増殖)

【流行時期】 例年12月～3月下旬

【潜伏期間】 通常1～3日

【症状】 急激な発熱、呼吸器症状、全身症状

【診断】 迅速診断キットが普及

【治療】 抗インフルエンザウイルス薬

【予防】 ワクチン接種

【消毒】 アルコール



インフルエンザの予防

- 手洗い、うがい、咳エチケットの励行
- マスクの着脱の確認、外出時にはマスクを着用
- 換気、温度・湿度管理、衣類での保温調整
- 十分な休養、バランス良い食事、ストレスをためない
- 流行時は人混みを避ける
- 体調チェックと異常時の連絡体制の確立

☆個人はもちろん、家族全員で取り組む
☆事業所全体でも声をかけあい実行しましょう！



4 ノロウイルスの 基礎知識と対策

ノロウイルスの特徴



- 感染性胃腸炎の原因ウイルスの1つ
- 1年を通して発生がみられ、通年11月から増加、冬期にピーク
- 感染力が非常に高い。10～100個程度のウイルスでも感染
- 食品中では増殖せず、ヒトの腸管内でのみ増殖
- 感染者の糞便・嘔吐物中には1gあたり数億個のウイルスが排出される
- 抗ウイルス剤がない

ノロウイルスの感染経路

1 接触感染

便や嘔吐物に接触した手を介する感染

2 接触感染(条件付き)

- 嘔吐時の飛沫
- 口に嘔吐物が残っているときに、咳やくしゃみ

3 空気感染(条件付き)

乾燥した嘔吐物や便が、ウイルスを含むほこりとなって空気中に舞い上がる。

→嘔吐物や下痢便の不適切な処理が原因

ノロウイルスの対策

「病原体」ノロウイルス

○消毒

次亜塩素酸ナトリウム

加熱85℃ 1分以上

○手洗い

手洗いは感染症対策の基本

5 新型コロナウイルス感染症について

まだまだ分からないことが多い感染症です。 最新の情報を常にご確認ください。

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

Google カスタム検索

↑ ホーム

テーマ別を探す 報道・広報 政策について 厚生労働省について 統計情報・白書 所管

↑ ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 福祉・介護 > 介護・高齢者福祉 > 介護事業所等における新型コロナウイルス感染症への対応等について

福祉・介護

介護事業所等における新型コロナウイルス感染症への対応等について

- 1. 基本的な事項
- 2. 感染拡大防止に関する事項
- 3. 職員の確保に関する事項
- 4. 衛生用品の確保に関する事項
- 5. 要介護認定に関する事項
- 6. 介護サービス事業所等の人員、施設・設備及び運営基準等の臨時的な取扱いに関する事項
- 7. その他に関する事項

新型コロナウイルス感染症に関する自治体・関係団体向け事務連絡を掲載しています。

1. 基本的な事項

福祉・介護

障害福祉サービス等事業所における新型コロナウイルス感染症への対応等について

- 1. 基本的な事項
- 2. 感染拡大防止に関する事項
- 3. 職員の確保に関する事項
- 4. 障害福祉サービス事業所等の人員、施設・設備及び運営基準等の臨時的な取扱いに関する事項
- 5. 放課後等デイサービスに関する事項
- 6. 医療的ケア児に関する事項
- 7. その他

新型コロナウイルス感染症に関する自治体・関係団体向け事務連絡を掲載しています。

1. 基本的な事項

患者が発生したときに保健所が行うこと

患者の行動歴等を確認し、次のことを行います。

1 感染経路の調査

患者や患者の可能性のある者との接触の有無等の確認。

2 蔓延防止の対応

①濃厚接触者の調査

感染の可能性の高い濃厚接触者の有無を確認。

濃厚接触者には、健康状態の確認と最終接触から2週間の健康観察と自宅待機を指示する。

②施設内消毒の指導

利用者や職員が触れる部分の拭き取り指導。

(アルコールや適切な濃度の次亜塩素酸)

6 感染予防対策

特別なことではありません。普段からの取り組みが重要です。

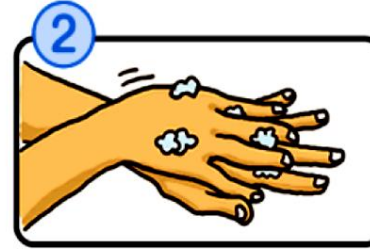


手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をめらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



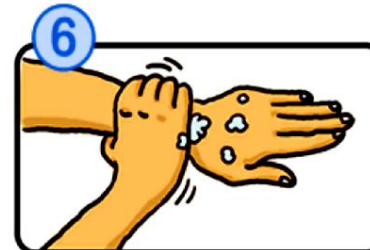
指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、
清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

まずは手洗い

ママに手洗い、ママにマスクでインフルエンザ予防！

「飛沫感染予防」には咳エチケットを!!

- ・かかったかな?と思ったら **＝「咳エチケット」**
- ・くしゃみや咳が出ている間は、

マスクを正しく着用

マスクを着用していても、鼻の部分に隙間があったり、あごの部分が出たりしていると効果がない。
鼻と口の両方を確実に覆う。



<正しいマスクの着用>



鼻と口の両方も
確実に覆う



ゴムひもも耳にかける



隙間がないよう
鼻まで覆う

⚠️ 咳エチケット違反してませんか？

咳やくしゃみを手でおさえる



咳やくしゃみを手でおさえると、その手にウイルスが付着します。ドアノブなどを介して他の人に病気をうつす可能性があります。

何もせずに咳やくしゃみをする



咳やくしゃみをするとき、しぶきが2mほど飛びます。しぶきには病原体が含まれている可能性があります。他の人に病気をうつす可能性があります。

他人への感染を防ぐため、咳エチケットを行きましょう。

3つの咳エチケット 電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう

① マスクがない時



① マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

鼻から顎までを覆い、隙間がないようにつけましょう。

① とっさの時



③ 袖で口・鼻を覆う

マスクやティッシュ・ハンカチが使えない時は、袖や上着の内側で口・鼻を覆いましょう。



② ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

ティッシュ:使ったらすぐにゴミ箱に捨てましょう。
ハンカチ:使ったらなるべく早く洗いましょう。

こまめに手を洗うことでも病原体が拡がらないようにすることができます。

咳エチケット解説 厚生労働省 咳エチケット

バーコード読み取り機付付き携帯電話もしくはスマートフォンでご利用になります。



新型コロナウイルス感染症対策用 施設設備の消毒液の作り方

患者などの接触部位（ドアの取っ手、ベッド柵など）の消毒※
0.05%次亜塩素酸ナトリウム

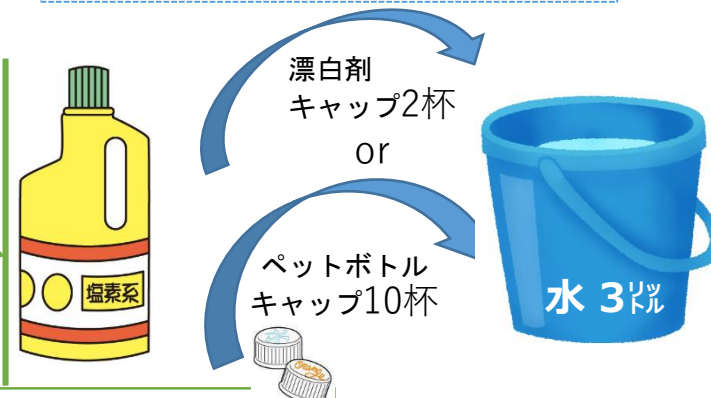
| 漂白剤の塩素濃度 | 希釈倍率 | 漂白剤の量 | 水の量 |
|----------|------|--------|-----|
| 1% | 20倍 | 150ml | 3ℓ |
| 6% | 120倍 | 25ml | 3ℓ |
| 12% | 240倍 | 12.5ml | 3ℓ |



患者などが使用したトイレや汚物などの消毒※
0.1%次亜塩素酸ナトリウム

| 漂白剤の塩素濃度 | 希釈倍率 | 漂白剤の量 | 水の量 |
|----------|------|-------|-----|
| 1% | 10倍 | 330ml | 3ℓ |
| 6% | 60倍 | 50ml | 3ℓ |
| 12% | 120倍 | 25ml | 3ℓ |

※漂白剤のキャップ1杯 約25ml
ペットボトルのキャップ1杯 約5ml



※国立感染症研究所、国立国際医療研究センター作成「新型コロナウイルス感染症に対する感染管理」から引用
<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/2019nCoV-01-200305.pdf>



○ 注意

- 消毒液は、直ぐに使用して、使い切ってください。（誤飲も注意！）
- ビニール手袋・マスクなどを着用して作業してください。
- 金属は腐食しやすいので、消毒後は水拭きをしてください。

参考資料

感染対策マニュアル 等

高齢者介護施設における
感染対策マニュアル
改訂版

2019年3月

高齢者施設・介護職員対象の
結核ハンドブック

(2016年7月)

公益財団法人結核予防会結核研究所
対策支援部保健看護学科編

保健所に連絡するとき

(「社会福祉施設等における感染等発生時にかかる報告について」平成17年2月22日 厚生労働省健康局ほか)

a. 報告が必要な場合

- ア 同一の感染症や食中毒による、またはそれらが疑われる死亡者や重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合
- イ 同一の感染症や食中毒の患者、またはそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合*
- ウ 上記以外の場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

b. 報告する内容

- 感染症又は食中毒が疑われる入所者の人数
- 感染症又は食中毒が疑われる症状
- 上記の入所者への対応や施設における対応状況 等

感染症に関する相談や報告は、
医務感染症課 TEL055-237-8952まで²⁹

職員の予防対策

c. ワクチンによる予防

ワクチンで予防可能な疾患については、職員は可能な限り予防接種を受け、感染症への罹患を予防し、施設内での感染症の媒介者にならないようにすることが重要です。予防接種を受けることができない者には、一般的な健康管理を充実強化することが求められます。

| | |
|---|--|
| インフルエンザワクチン | 毎年、必ず接種しましょう。 |
| B型肝炎ワクチン | 採用時に接種しましょう。 |
| 麻疹ワクチン 風疹ワクチン 水痘ワクチン 流行性耳下腺炎ワクチン | これまで罹患したことがなく、予防接種も受けていない場合は、採用時に接種しましょう。 また、感染歴やワクチン接種歴があっても、抗体検査で抗体価の状況を確認しておくといでしょう。 |

予防接種の実施に当たっては、職員に対して、予防接種の意義、有効性、副反応の可能性等を十分に説明して、同意を得た上で、積極的に予防接種の機会を提供しましょう。また、接種を希望する職員に、円滑に接種がなされるように配慮しましょう。

なお、委託職員であっても入所者と接する機会が多い場合は、なるべくワクチンを接種することが望まれます。

その他参考にしてもらいたい資料

【厚生労働省】

- インフルエンザ施設内感染予防の手引き
- 結核院内（施設内）感染対策の手引き
- 保育所における感染症対策ガイドライン
- 職場における風しん対策ガイドライン

【学校保健会（文部科学省）】

- 学校において予防すべき感染症の解説

※ いずれもインターネットで検索できます。最新のものをご確認ください。

感染症の発生動向を知るには？

- 甲府市内の動向は→市のホームページ
- 山梨県内の動向は
→山梨県感染症情報センターのホームページ

「感染症発生
情報」から情報
収集し、予防や対
策に活用してくだ
さい。



The screenshot shows the website of the Yamanashi Prefecture Infection Information Center. The page title is '感染症発生動向情報' (Infection Occurrence Trend Information). The main content area displays '感染症発生動向情報' (Infection Occurrence Trend Information) and '感染症情報' (Infection Information). The '感染症情報' section states '現在は特にありません' (There are currently no specific issues). Below this, there are sections for '感染症発生動向調査 (週報及び全数把握対象疾患)' (Infection Occurrence Trend Survey (Weekly Report and Survey of All Cases)) and '感染症発生動向調査 (月報)' (Infection Occurrence Trend Survey (Monthly Report)). The weekly report section shows '2019年18週 (4月29日から5月5日まで) (PDF: 123KB)' and '過去の調査結果' (Past Survey Results) with a link to '2019年14週から17週まで (4月1日から4月28日まで) (PDF: 85KB)'. The monthly report section is currently empty.